

2018年3月期第2四半期決算説明会 2017.11.24

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

本日のアジェンダ

1. 2018年3月期第2四半期決算サマリー
執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と今後の取り組み
代表取締役社長 木村 始

〈参考〉 主要データ (連結ベース)

2018年3月期第2四半期決算のポイント

- ① 2018年3月期上期の一般材は、自動車関係、建築関係、半導体関係等を中心に昨年度下期から旺盛な需要が継続。
- ② 高機能材事業部門は、高機能材・高付加価値材共に米国・中国をはじめとした耐久消費財需要が堅調。低迷していた石油・ガス関連需要は、原油相場上昇に伴い回復の兆しが見える。
- ③ ステンレス一般材販売価格は、クロムの乱高下やニッケル価格の一時的な調整局面、鉄源や副資材価格の上昇といった原料価格の変動があったものの、コストに見合った価格を維持。
- ④ 2018年3月期上期収益は火災による影響を受けたが、下期は旺盛な需要等を背景に上期の落ち込みから回復に取り組む。

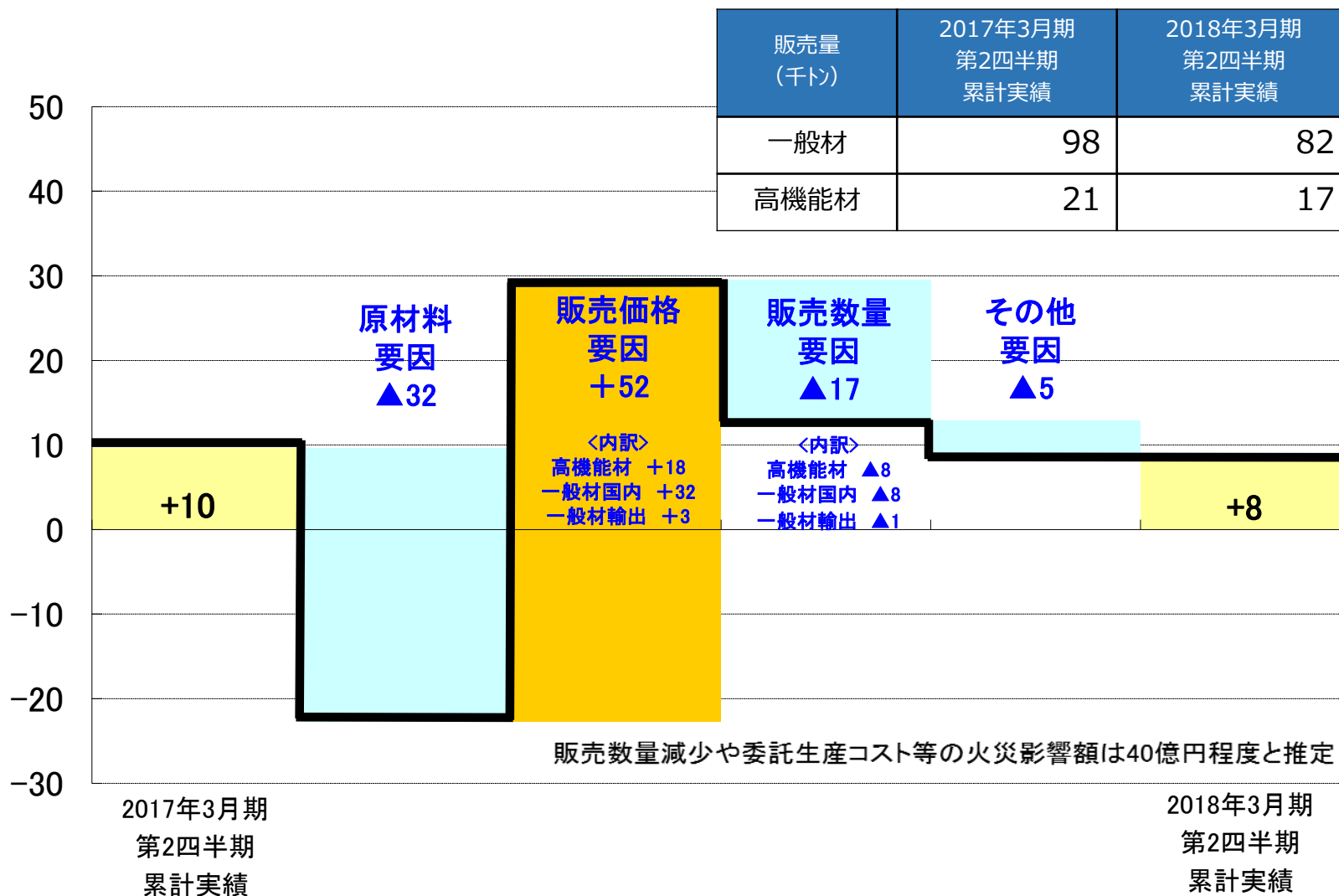
損益計算書 連結 概要

	2017年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2018年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年同期比 (億円)	前年同期比 (%)
売上高	535	528	▲8	▲1.4
営業利益	10	8	▲1	▲12.4
経常利益	3	5	2	50.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	3	▲3	▲6	—

(ご参考) ニッケルLME期中平均価格：2017年3月期上期4.33US\$/Lb、2018年3月期上期4.49US\$/Lb。

期中平均為替レート：2017年3月期上期105.29円/\$、2018年3月期上期111.06円/\$。

営業利益変動の要因分析（前年同期比較：億円）



貸借対照表 連結 概要

	2017年 3月末 (億円) 【A】	2017年 9月末 (億円) 【B】	2017年 9月末 (億円) 期末休日 影響除く	前期末比 (億円) 【B-A】	2017年 3月末 構成比 (%)	2017年 9月末 構成比 (%)
現金・預金	60	64	(51)	4	4.5	4.6
売掛債権	205	191	(183)	▲14	15.1	13.6
たな卸資産	288	312	(312)	23	21.3	22.2
固定資産	800	812	(812)	12	59.0	57.9
その他資産	3	23	(23)	20	0.2	1.6
【資産合計】	1,357	1,402	(1,380)	45	100	100.0
借入金及び社債	552	548	(553)	▲4	40.7	39.1
その他負債	436	485	(459)	49	32.1	34.6
【負債計】	988	1,033	(1,011)	45	72.8	73.7
【純資産計】	369	369	(369)	1	27.2	26.3
自己資本比率 (%)	27.2	26.3	(26.8)			

※2018年3月期第2四半期連結累計期間末日が金融機関の休日であったため、債権債務の一部について期末日日期日のものが当第2四半期連結累計期間に含まれております。()内はその影響を除いたものです。

キャッシュフロー計算書 連結 概要

	2017年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2018年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2018年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年比 (億円)
	【A】	【B】	期末休日影響除く	【B-A】
営業活動によるキャッシュフロー	37	27	(11)	▲10
税金等調整当期純利益	3	▲2	(▲2)	▲6
減価償却費	19	18	(18)	▲1
売上債権の増減額 (△は増加)	9	14	(22)	4
たな卸資産の増減額 (△は増加)	18	▲23	(▲23)	▲42
仕入債務の増減額 (△は減少)	▲13	18	(▲1)	31
法人税等の支払額	▲1	▲3	(▲3)	▲2
その他	2	6	(1)	5
投資活動によるキャッシュフロー	▲16	▲11	(▲13)	5
有形・無形固定資産の取得による支出	▲16	▲12	(▲13)	5
その他	0	0	(0)	0
フリー・キャッシュフロー	21	16	(▲2)	▲5
財務活動によるキャッシュフロー	▲22	▲12	(▲7)	10
借入金及び社債の純増減額 (△は減少)	▲17	▲5	(0)	12
その他	▲5	▲7	(▲8)	▲2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	▲2	4	(▲10)	6

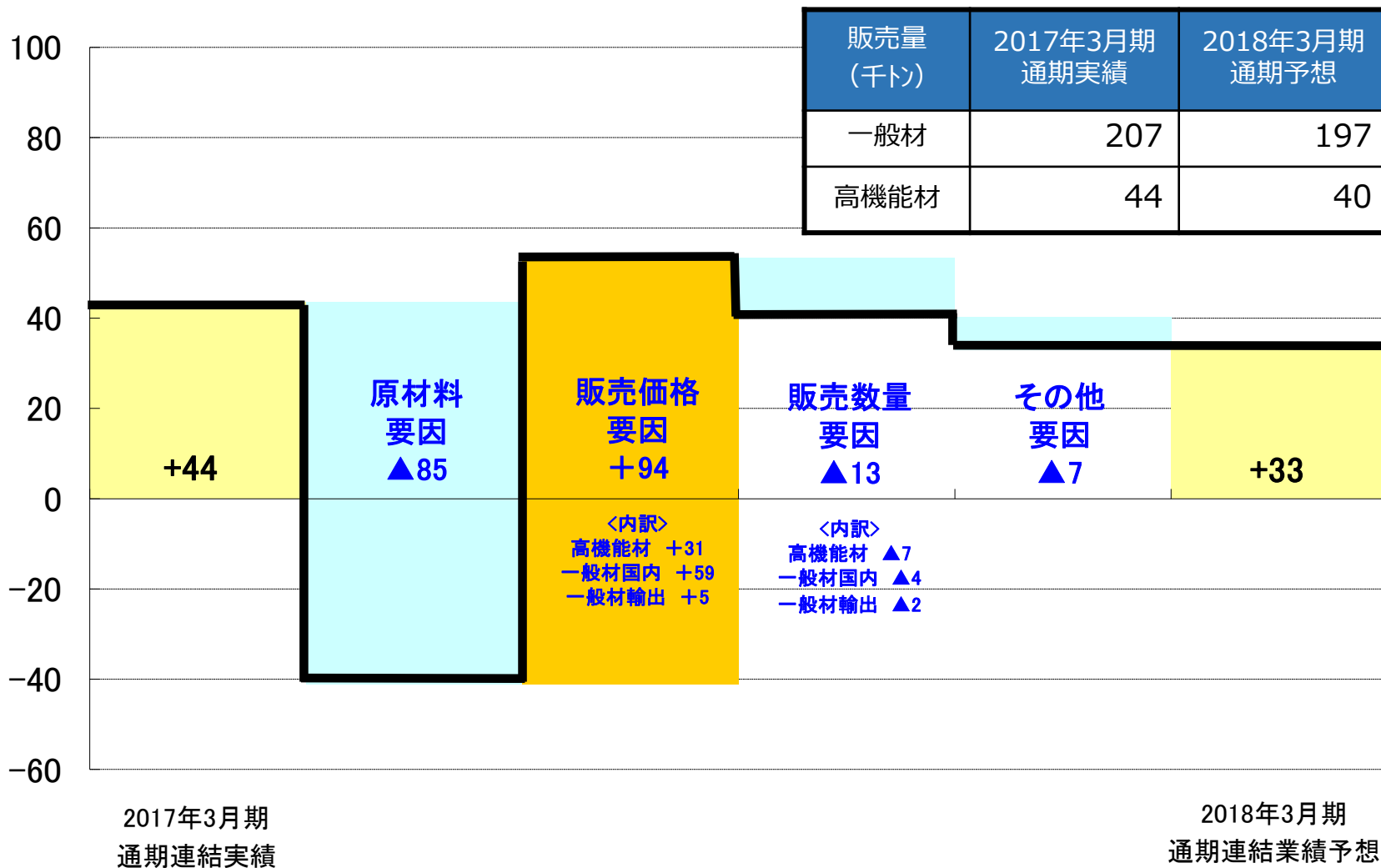
※2018年3月期第2四半期連結累計期間末日が金融機関の休日であったため、債権債務の一部について期末日日期日のものが当第2四半期連結累計期間に含まれております。()内はその影響を除いたものです。

2018年3月期連結業績予想（前年度比較：億円）

	2017年3月期	2018年3月期		
	通期連結実績 (億円)	【10/31公表】 通期連結 業績予想 (億円)	前年度比 (億円)	前年度比 (%)
売上高	1,130	1,150	20	1.8
営業利益	44	33	▲11	▲24.2
経常利益	28	23	▲5	▲19.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	12	▲11	▲48.9

ニッケルLME下期想定平均価格：4.80US\$/Lb、下期想定平均為替レート：112.00円/\$。

営業利益変動の要因分析（前年度比較：億円）



本日のアジェンダ

1. 2018年3月期第2四半期決算サマリー
執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と今後の取り組み
代表取締役社長 木村 始

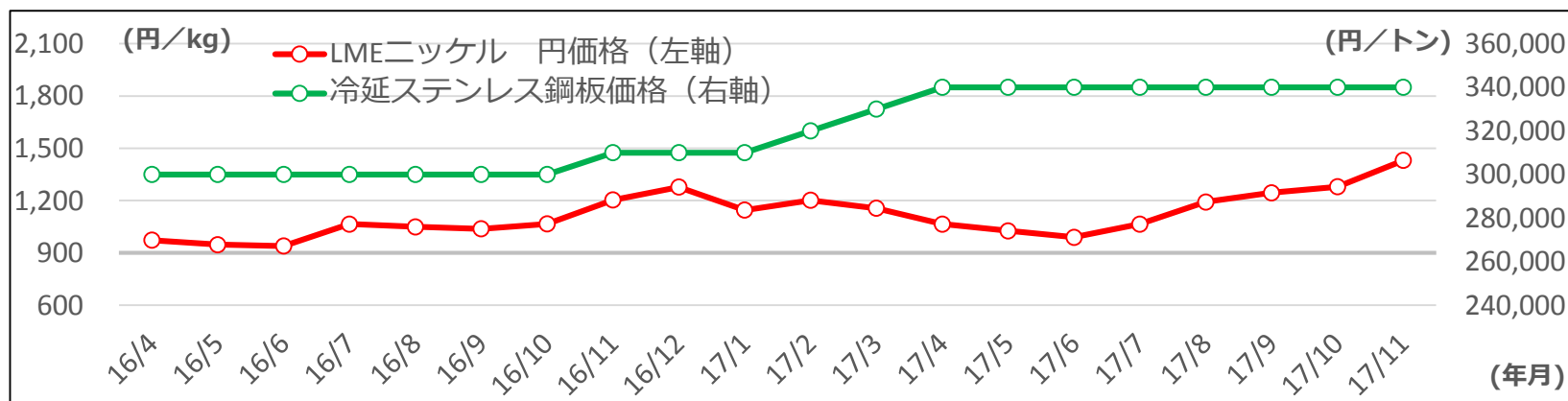
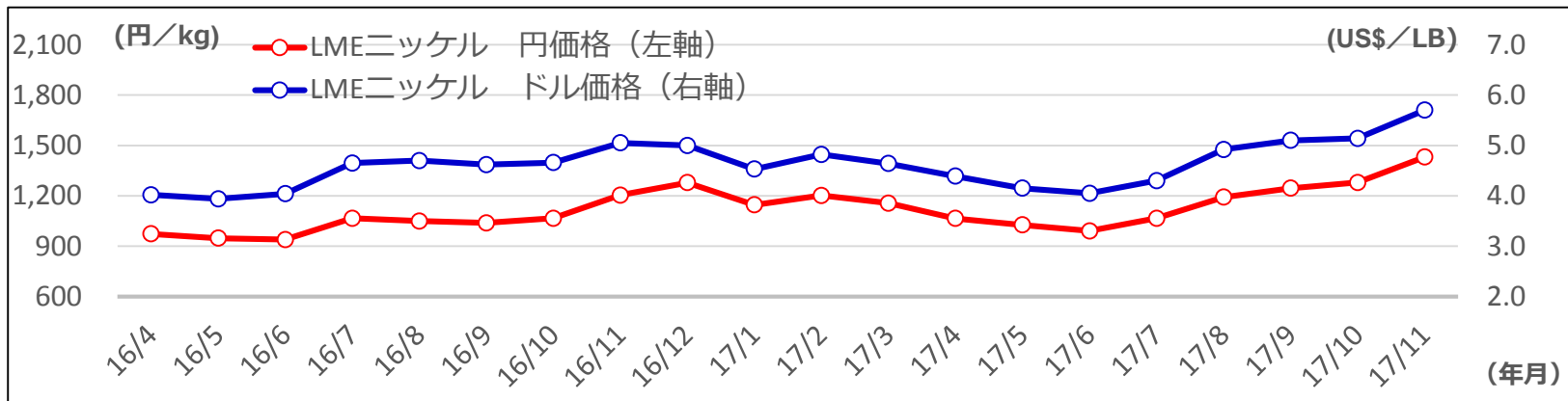
〈参考〉 主要データ (連結ベース)

ステンレス一般材の状況

	今年度上期	下期想定
国内	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車関係や業務用厨房、建築関連の需要が好調、半導体関係の需要も旺盛で、活況となった ➤ 販売価格は需給バランスに基づき比較的安定した価格を維持した ➤ 輸入材の流入量は一時増加したものの、国内材との住み分けに大きな変化は無し 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 需要は上期から引き続き旺盛、下期は公共工事需要等で更なる盛り上がりを期待 ➤ 17年7月からLMEニッケル価格が上昇、コストに見合う適正な販売価格の交渉に努める
海外	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 海外メーカーの生産過剰による供給過多で過当競争の状態が継続 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原材料価格の高騰により引合が増加 ➤ 為替、原料価格を見ながらの慎重な営業活動を続ける

ニッケル・ステンレス価格の推移（月次）

- ▶ LMEニッケル価格は17年1Qは下落したものの、2Qから上昇
- ▶ ステンレス鋼板価格は需要好調を背景に、ニッケル価格下落局面でも価格を維持

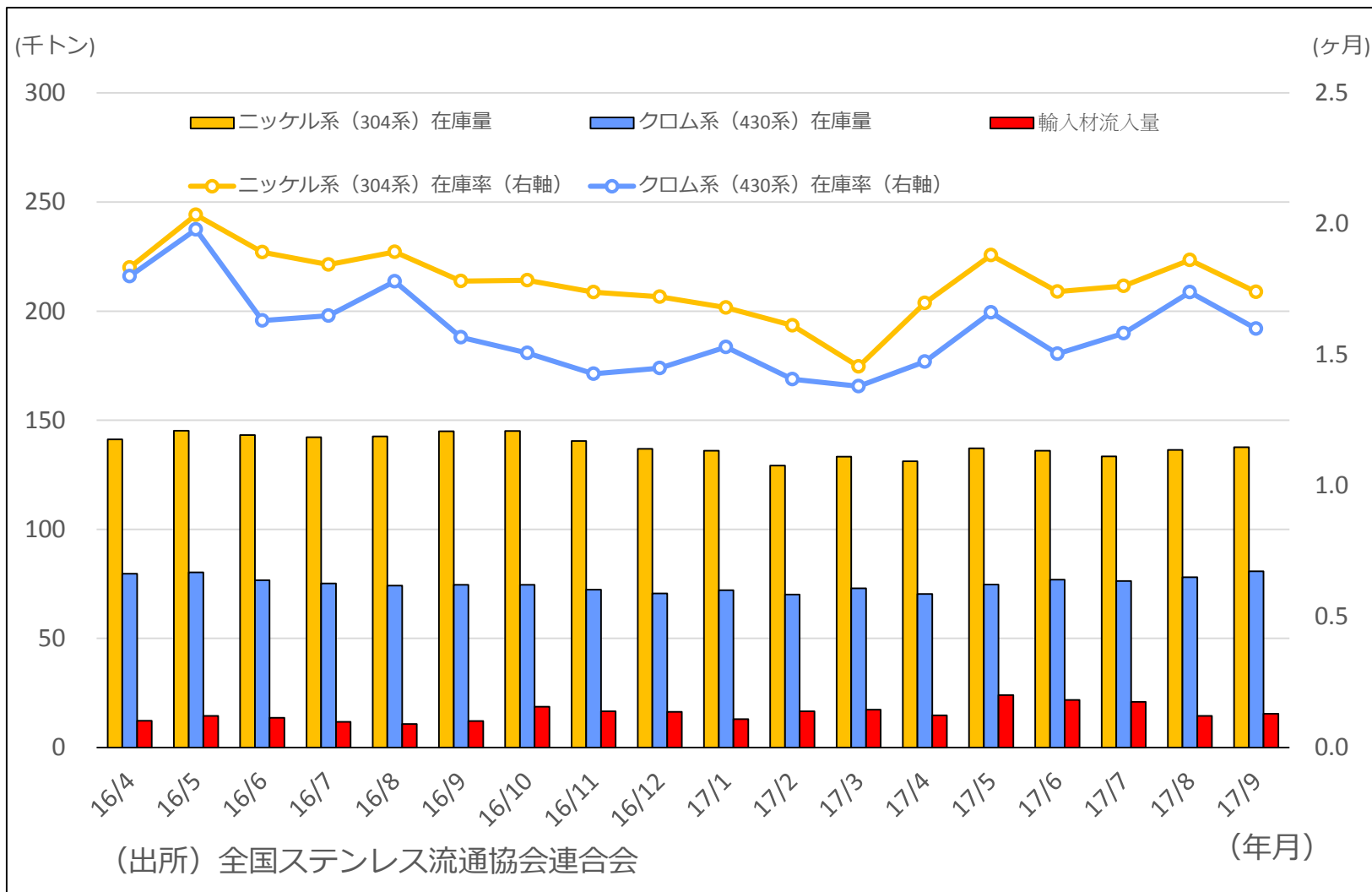


(注1) 冷延ステンレス鋼板：東京SUS304種18-8、2.0ミリ。

(注2) 2017年11月価格は冷延ステンレス鋼板は直近、ニッケル価格は11/10までの平均。

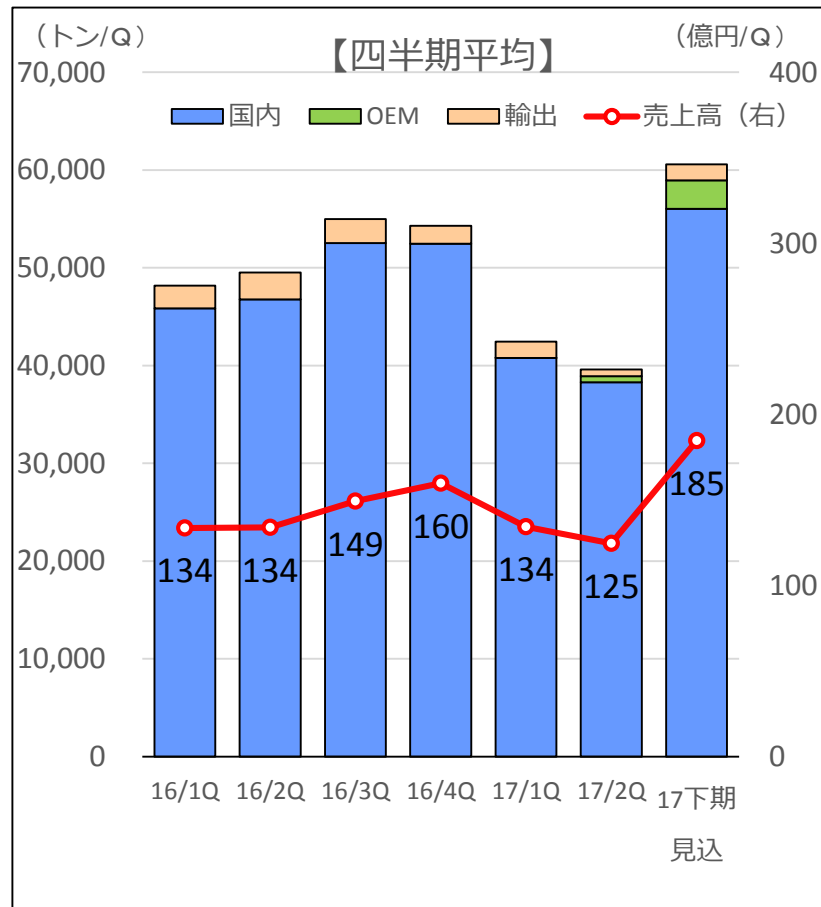
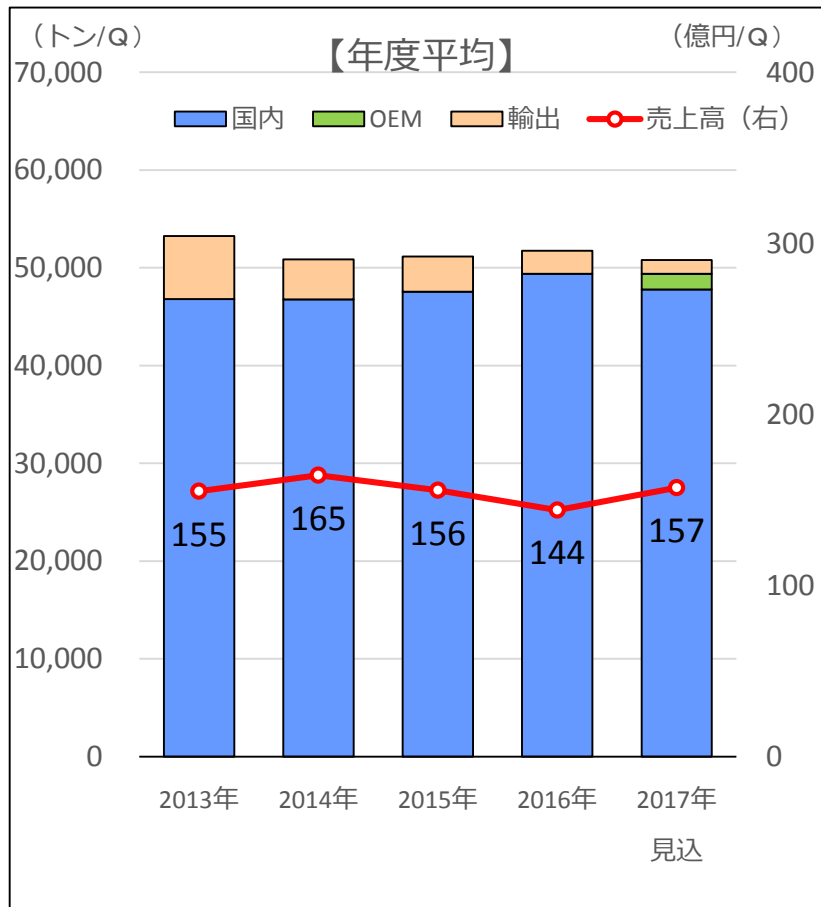
(出所) 鉄鋼新聞。

ステンレス（ニッケル系・クロム系）在庫の推移



販売量及び売上高《ステンレス一般材》

▶国内需要好調、17下期は高水準の販売量を計画

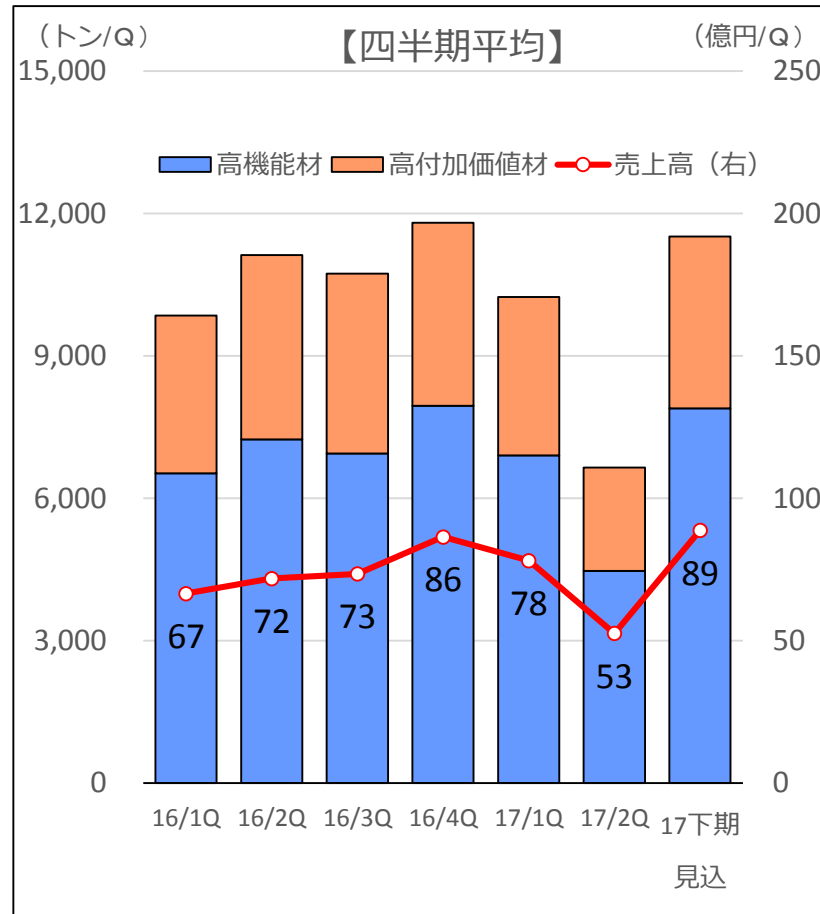
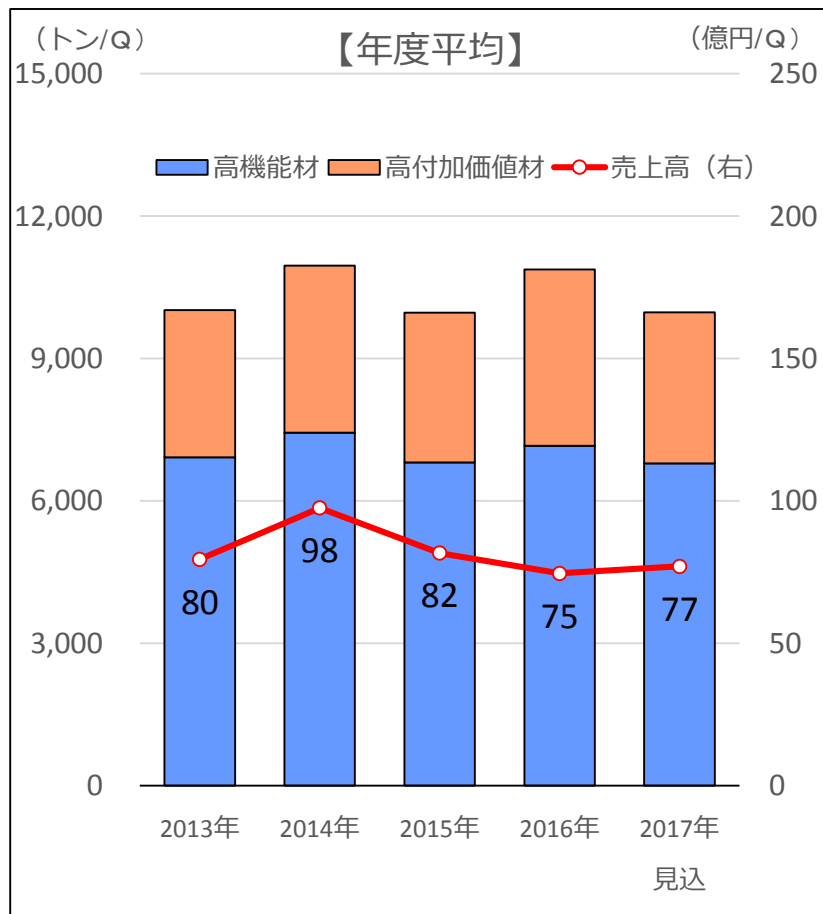


高機能材部門の状況

	今年度上期	下期想定
国内	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高機能材は自動車関係や産業機器向け高強度材等の需要が好調 ➤ 高付加価値材は昨年度下期に引き続き需要堅調を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高機能材部門需要は自動車関係等を中心に間接輸出部門の需要が旺盛、水インフラ関連需要も見られ、上期に引き続き堅調を想定
海外	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中国は景気回復傾向となり、耐久消費材を中心に需要は堅調。再生可能エネルギー重視政策の影響で太陽光パネル関連の需要が復活 ➤ 米国も景気好調で、航空機部品や電子機器部品向けの需要が堅調 ➤ 高機能材主力のシーズヒータ材は好調、有機EL関連需要は急速に増加 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 下期の高機能材需要は上期に引き続き堅調、昨年度下期並の販売量を想定 ➤ 石油・ガス関連プロジェクトは原油相場上昇に伴い動き有り、需要の盛り上がり期待

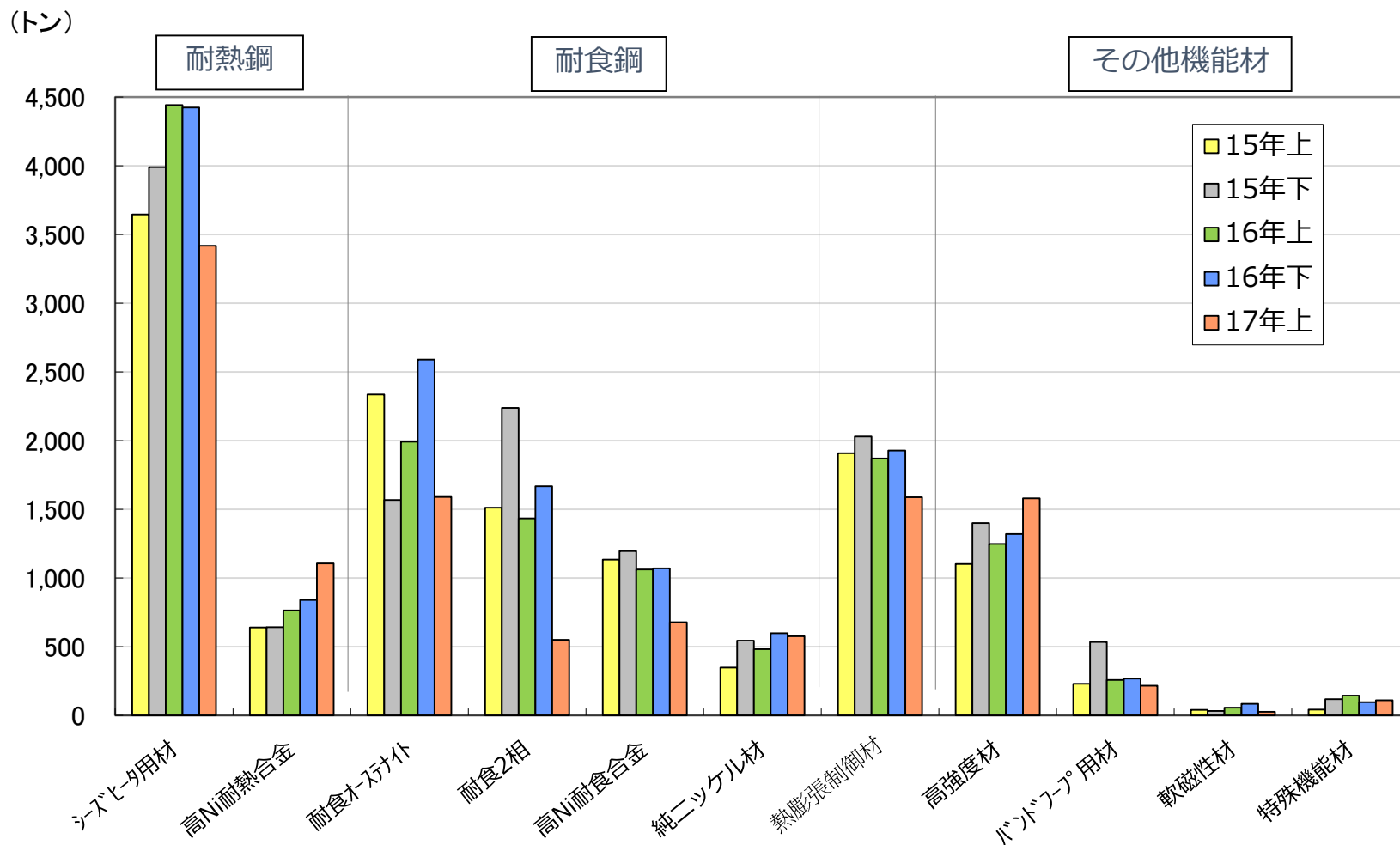
販売量及び売上高《高機能材部門合計》

➤ 需要堅調、17年下期は16下期並の販売数量を計画



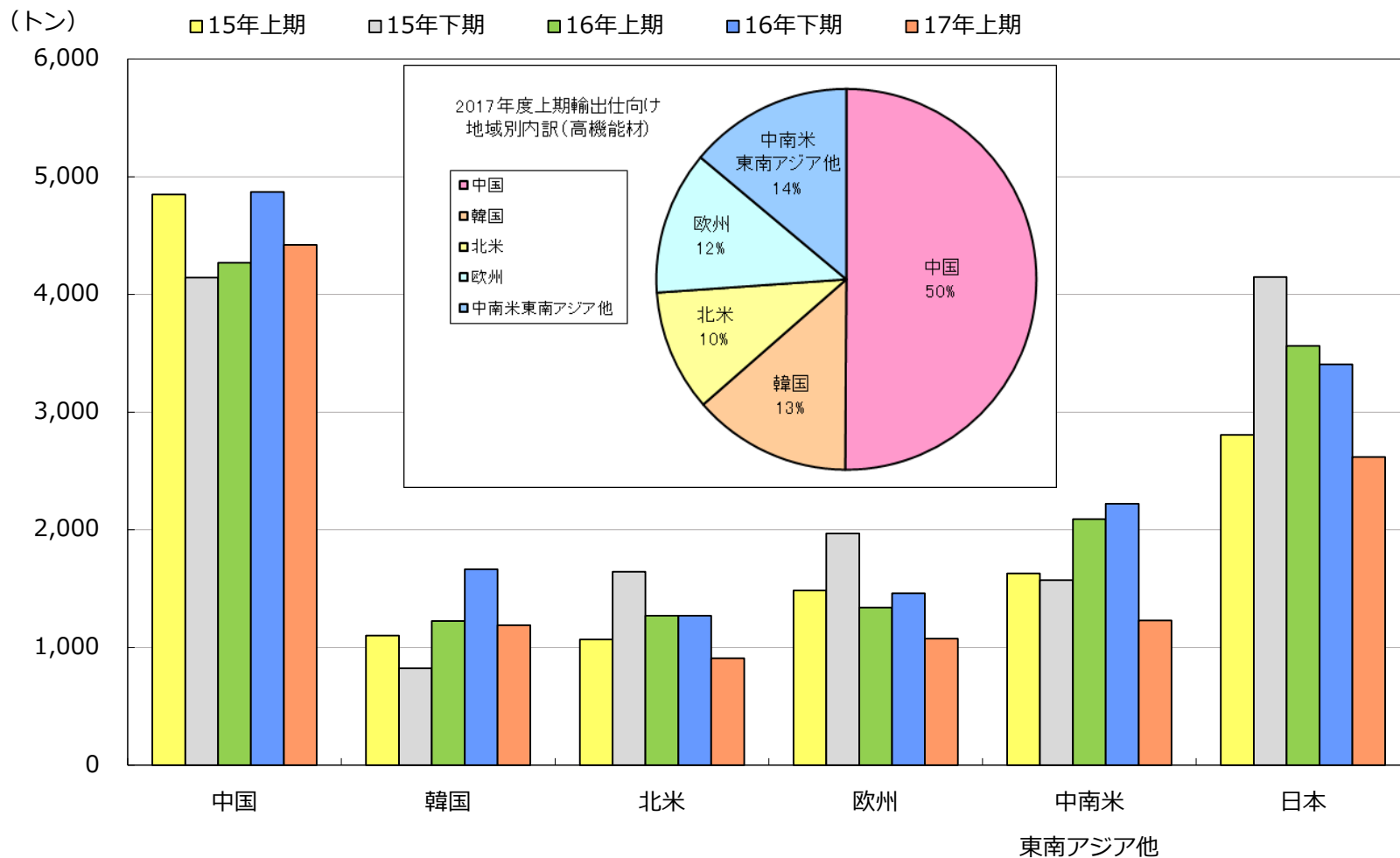
高機能材の分類別の推移（販売量）

国内・輸出共に高機能材需要は堅調、火災による一時生産停止影響で販売数量減少



高機能材の仕向け地別推移（販売量）

➤ 中国需要回復傾向、中南米では米国向け輸出産業需要が堅調



中国における合弁会社設立に関する合弁契約書調印について

平成29年7月4日調印、年内の開業を目指して手続きを進行中



合弁会社概要

- (1) 名称 南鋼日邦冶金商貿（南京）有限公司
- (2) 所在地 中国江蘇省南京市浦口区浦洲路 35 号
- (3) 資本金 10 百万人民币（約 167 百万円）
- (4) 出資比率 日本冶金工業 60%、南京鋼鐵股份有限公司37%、
江蘇三鑫特殊金属材料股份有限公司3%
- (5) 董事長 王昆（当社常務執行役員）
- (6) 事業内容 高機能材の仕入販売委託圧延・委託加工、技術及び品質保証サービス
- (7) 営業開始 平成 29 年 12 月（予定）

製品紹介

船舶エンジン排ガス浄化装置



世界的な環境保護意識の高まりから、船舶においても排ガス中の硫黄酸化物（SO_x）を規制する動きが始まっています。SO_xスクラバーは排ガスを海水のシャワーで洗浄し、含まれるSO_xを低減する装置ですが、処理水や排ガス中には硫酸が生成するため、その腐食に耐える高耐食ステンレス鋼が必要とされます。そこで日本冶金の高耐食ステンレス鋼NAS64とNAS254Nが国産第一号の「三菱SO_xスクラバー」に採用されました。

【使用鋼種】 NAS64、NAS254N

【特徴】 硫酸濃縮環境下での腐食耐性

配当について

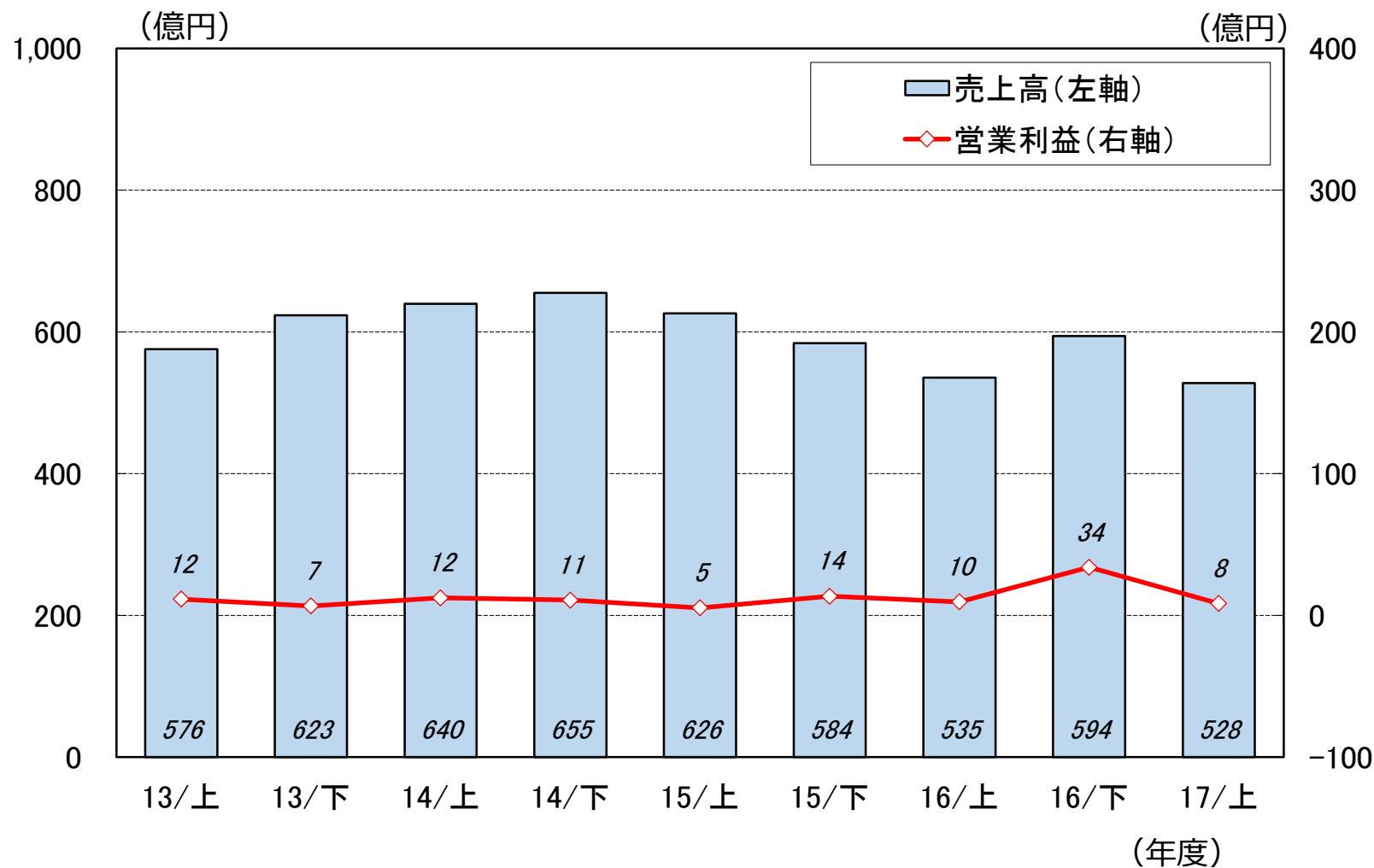
- 2018年3月期 中間配当
誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。
- 2018年3月期 期末配当
現時点では未定

本日のアジェンダ

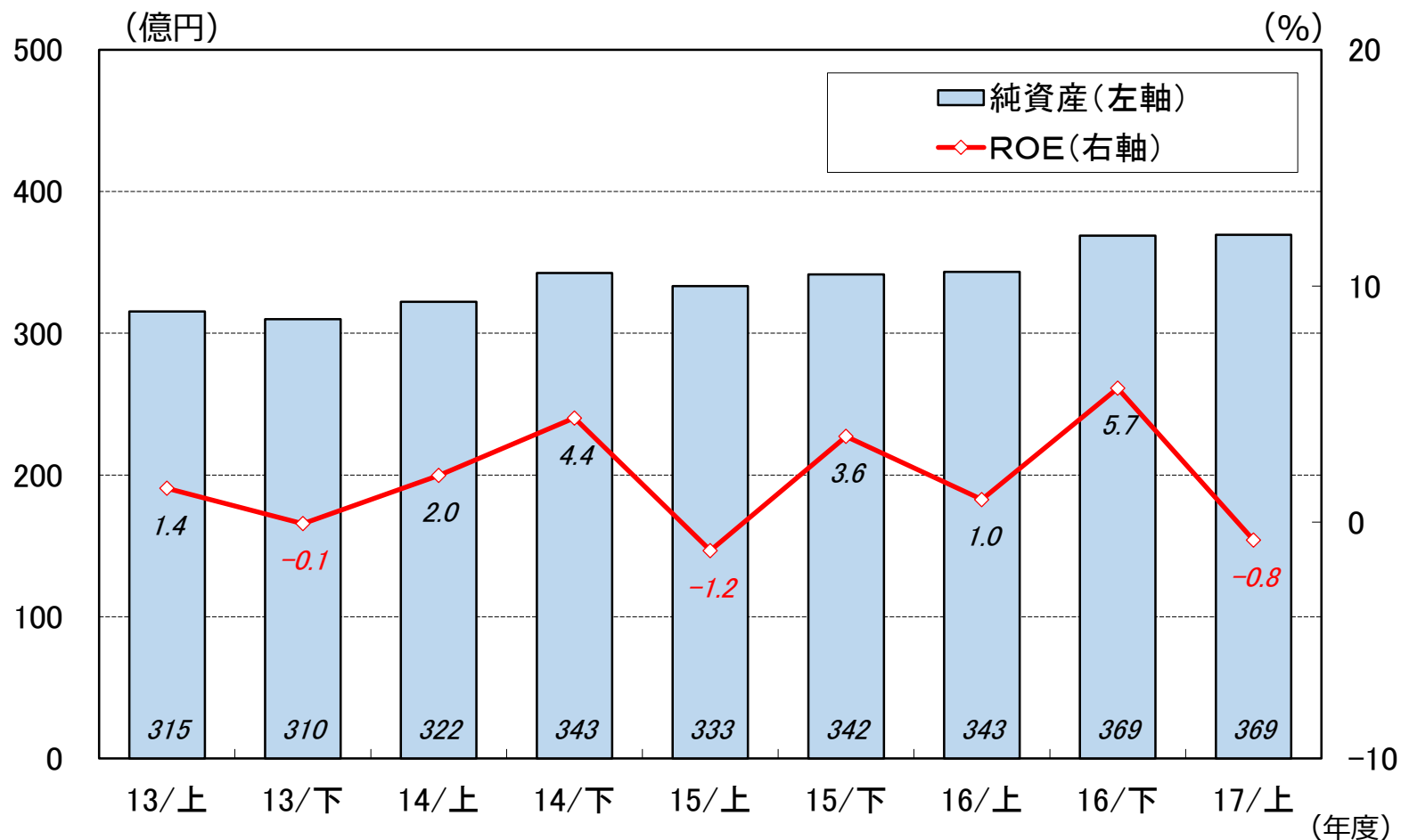
1. 2018年3月期第2四半期決算サマリー
執行役員経理部長 小林 伸互
2. 足元の状況と今後の取り組み
代表取締役社長 木村 始

〈参考〉主要データ（連結ベース）

売上高・営業利益

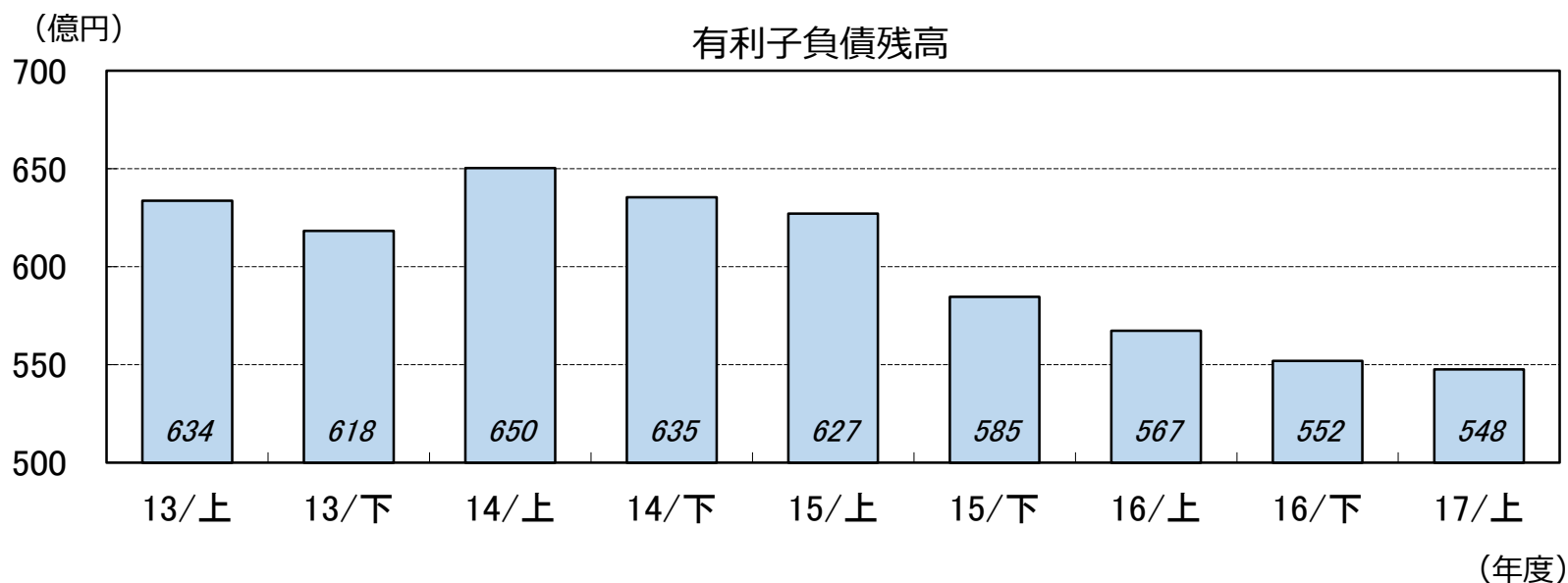
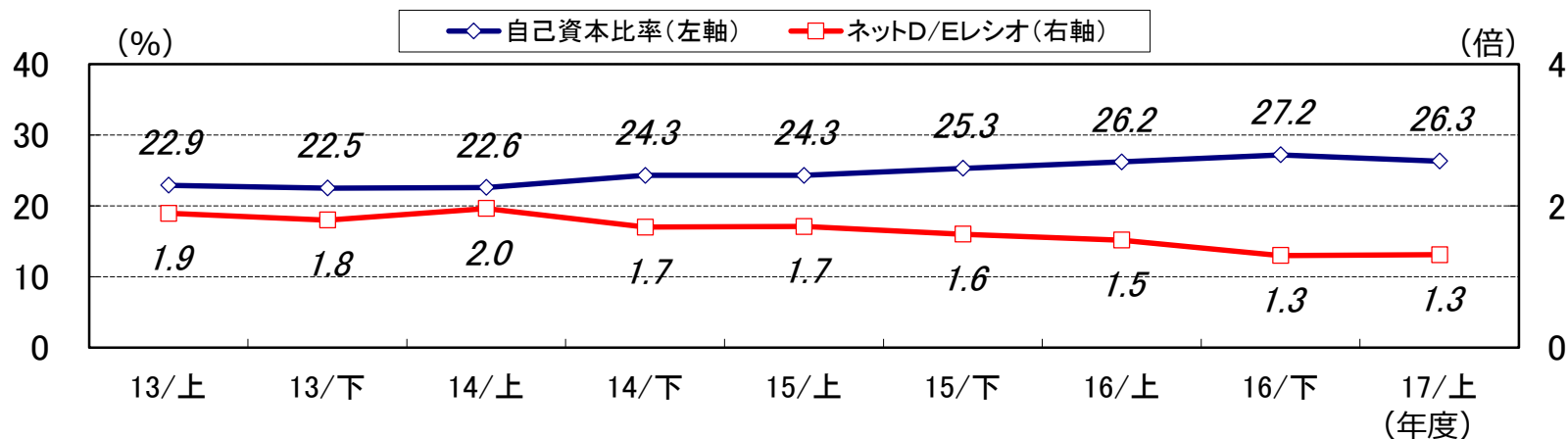


純資産・ROE

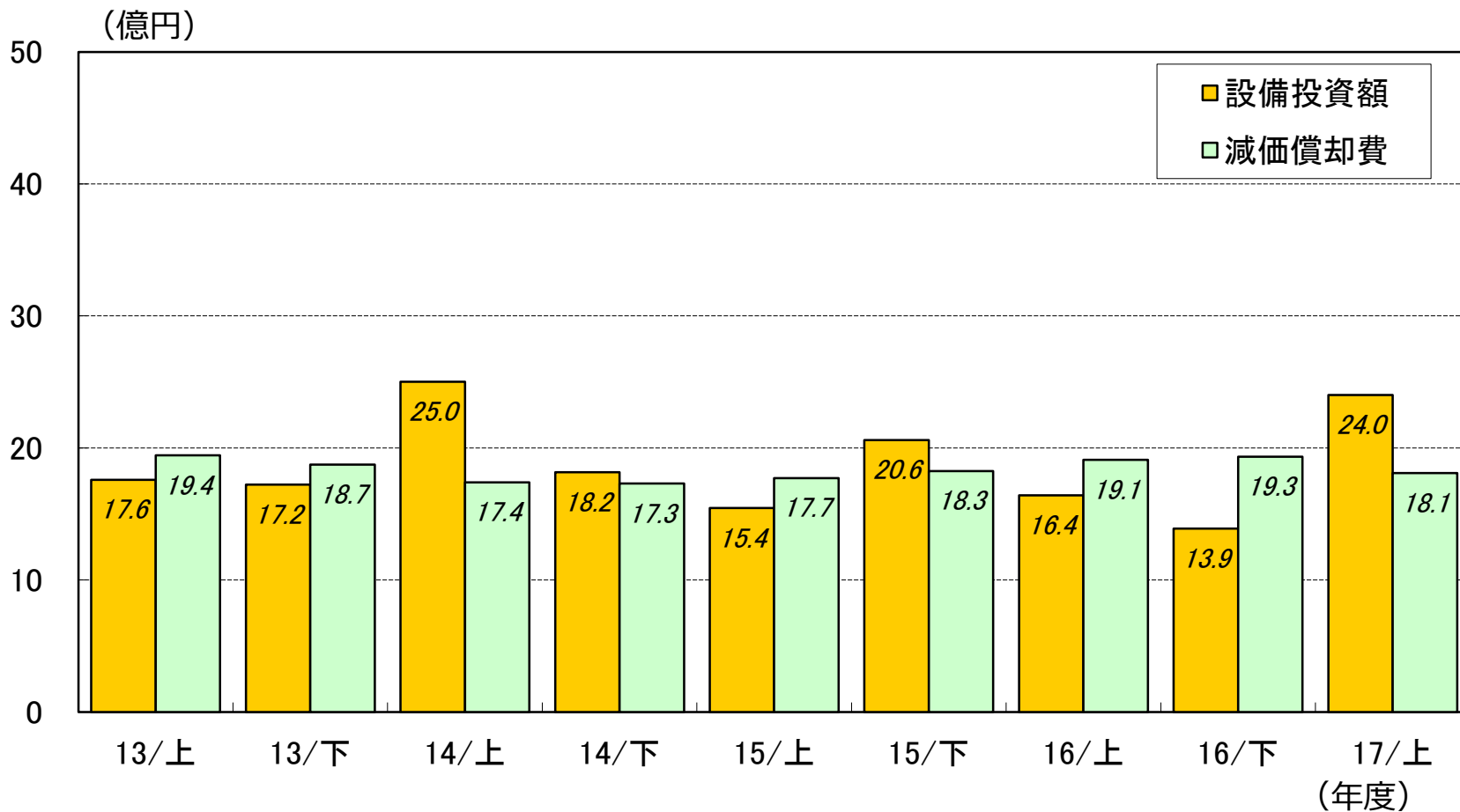


(注) ROEは、当期純利益／期初・期末平均純資産

有利子負債残高と自己資本比率、ネットD/Eレシオ



設備投資（連結ベース）



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ
～そして競争力No.1の高機能材メーカーへ～

日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

T e l . 03-3273-3613 /

E-M A I L . irjimu@nyk.jp